

第3回

スヌーズレン教育研究会の ご案内

—特別支援学校及び小・中学校におけるスヌーズレンの授業の可能性—

今日、障がいの重い児童生徒の在籍する特別支援学校だけではなく、小・中学校の特別支援学級や通常学級においても、自閉スペクトラム症の発達障がいのある児童などに心理的な安定などを図る指導として、スヌーズレンの授業が導入されています。本研究会では、これまでの全国の実践とICFモデルを紹介し、その成果と課題を述べて、この授業のこれからの可能性について提案いたします。多数の皆様のご参加をお待ちしております。



スヌーズレンの代表的な環境(ホワイトルーム)

開催日 2019年1月13日(日)
13:30~16:50(受付13:00~)

参加費 **無料**

会場 常葉大学草薙キャンパス
(JR草薙駅北口から徒歩約5分)
A棟4階 A426教室

定員 **50名**
(先着順)

スケジュール

- 13:00~13:20 受付
- 13:20~13:30 開会、挨拶
- 13:30~14:00 基調講演…姉崎 弘(常葉大学教育学部教授)
「肢体不自由特別支援学校におけるスヌーズレンの授業の全国調査結果から」
- 14:00~14:30 講演…遠藤浩之(常葉大学保健医療学部准教授)
「スヌーズレンとリハビリテーション(ICFモデル)」
- 14:30~14:40 休憩
- 14:40~15:10 実践研究報告①…姉崎 弘(常葉大学教育学部教授)
「肢体不自由特別支援学校における集団によるスヌーズレンの授業づくり(中間報告)」
- 15:10~15:40 実践研究報告②…鈴木孝則(常葉大学教育学部4年)
「小学校通級指導教室における特別なニーズのある児童へのスヌーズレンの授業の可能性」
- 15:40~15:50 休憩
- 15:50~16:30 ミニスヌーズレン環境(手軽にできるスヌーズレン)の体験
- 16:30~16:50 全体質疑
- 16:50~17:00 挨拶、終了

スヌーズレンとは…
1970年代にオランダの重度知的障がい者施設においてやすらぎの活動やリラクゼーションの手法として始められた活動です。スヌーズレンの語源はオランダ語の「フンクン匂いをかぐ」と「ウトウト居眠りをする」の合成語から成り、今日では、世界中の福祉施設や学校、病院、個人宅などでさまざまな障がい者や病気のある人々などを対象とした余暇や教育・セラピーの方法として広く活用されています。日本の学校では、スヌーズレンは2000年頃から徐々に肢体不自由特別支援学校等に導入が始まり実践されています。

申し込み方法 下記の参加申込書に必要事項を記入して、FAX か、メールによる送信をお願いします。

主催 ISNA日本スヌーズレン総合研究所 所長 姉崎 弘
〒420-0911 静岡県駿河区弥生町6-1 常葉大学教育学部 姉崎 弘研究室内 協力
<http://www.snoezelen-research.jp/>

学術研究出版/ブックウェイ
(小野高速印刷株式会社 出版事業部)
E-mail : info@bookway.jp FAX : 079-244-1482

【1月13日(日) 第3回スヌーズレン教育研究会参加申込書 (FAX)】

勤務先		職名	
ご氏名		TEL	
E-mail アドレス		FAX	

※ご記入いただいた個人情報につきましては、主催者と協力会社の規定により次のとおり適切な安全管理措置を講じます。

1. 本研究会の実施に使用し、目的外には使用いたしません。 2. 協力会社より主催者以外の第三者への提供は行いません。 3. 主催者及び協力会社にて共同で利用いたします。

E-mail : info@bookway.jp

FAX : 079-244-1482 (小野高速印刷株式会社 出版事業部)